

東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会 バasketボール競技

MATCH No. 2D2

開催場所: 高山市立中山中学校体育館
試合区分: 成年男子準決勝
開催期日: 2012年10月2日 (火)
開始時間: 11:55

主審: 山内 俊幸
副審: 高城 邦弘・加藤 昌樹



Team A 千葉	●	8 -1st- 20 22 -2nd- 16 21 -3rd- 14 15 -4th- 27	○	Team B 兵庫
	66		77	

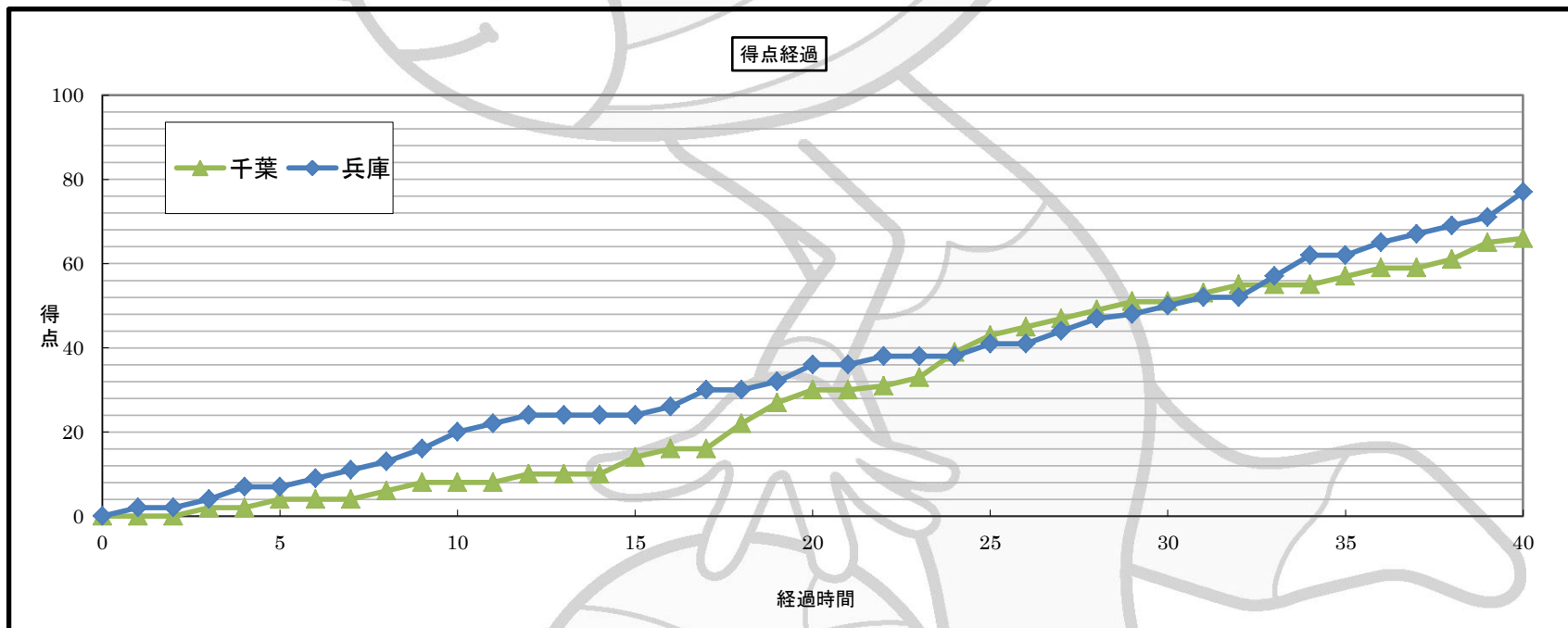
TEAM A		千葉							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		上村 健太	6	0	3	0	3	6	3
5		伊藤 恭平	9	0	1	7	3	2	0
6	*	井上 知徳	2	0	1	0	4	1	0
7	*	黒田 裕	10	0	3	4	5	8	2
8	*	高木 賢伸	13	2	2	3	5	2	3
9		子安 大輔	15	2	4	1	1	1	0
10		梶原 剛	8	2	1	0	1	1	3
11	*	秋元 啓人(C)	0	0	0	0	0	0	0
12		鎌田 晃輔	0	0	0	0	0	0	0
13		小山 純	0	0	0	0	2	2	0
14	*	小野寺 翔	3	0	0	3	4	4	0
Coach		砂明利 明仁					0		
TOTAL			66	6	15	18	28	27	11

TEAM B		兵庫							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		濱田 卓実	2	0	1	0	0	5	1
5	*	松崎 賢人	5	0	1	3	3	3	3
6	*	谷 直樹	12	1	3	3	3	2	0
7		長谷坂 健祐	0	0	0	0	1	0	0
8	*	中西 良太	20	0	6	8	3	5	0
9		中村 大輔	3	1	0	0	0	0	1
10		野園 ダアト	0	0	0	0	1	1	0
11		道原 紀晃	22	1	6	7	2	2	0
12		藤田 雅弥	4	0	1	2	3	3	1
13	*	香川 弘樹(C)	7	1	2	0	1	4	3
14	*	阪下 博則	2	0	1	0	5	1	2
Coach		森 祥治					0		
TOTAL			77	4	21	23	22	26	11

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	06:26	16:36	27:22	32:35	39:10	-

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	11:57	14:58	31:35	38:25	39:54	-

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル R:リバウンド A:アシスト



準決勝第2試合、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。千葉はインサイドを中心としたセットプレーで攻めるが、兵庫の高さに阻まれて思うようにシュートまでいけない。兵庫は#8のインサイドの1対1を中心に4-9と5点差にすると、千葉はゾーンディフェンスで対抗する。しかし、兵庫は落ち着いたパス回しから#11のミドルシュートで8-20とさらに引き離す。
2Q、千葉はディフェンスをマンツーマンに戻すと兵庫を約4分間ノーゴールに抑える。そして、#5の積極的な1対1でリズムを作ると#10の連続3Pと#7のインサイドで一気に6点差まで追い上げる。千葉はディフェンスを変化させたり、メンバーを交代させたりして流れを引き戻そうとするが6点差のまま前半を終える。
3Q開始30秒で兵庫#8が3つ目のファウルでベンチに下がると、千葉はインサイドにボールを集め、#7のゴール下での1対1と#8の3Pで40-41と1点差に詰める。ここで兵庫は#8をコートに戻すが千葉は#8の合わせのシュートで逆転する。ところがこの直後に、千葉#7が4つ目のファウルでベンチに下がる。千葉はセットプレーで加点し、51-50となんとか千葉が1点リードで最終Qを迎える。
4Q開始2分半で千葉#7がオフェンスファウルで退場してしまう。すると兵庫は#11を中心に連続10得点し55-62とする。千葉はディフェンスをゾーンディフェンスに変えインサイドの守りを固めようとするが、兵庫の#8のポストプレーで加点されてしまう。千葉は残り1分半に#9の3Pで5点差まで詰めるとファウルゲームに出て勝負をかける。しかし、得点をあげられず、最後は66-77で兵庫が決勝進出を果たした。両チームともインサイドの強みを生かした白熱した試合となった。

記載責任者 落合 一大 (所属) 岐阜県バスケットボール協会